

## 「東京建物グループ環境方針」を策定 グループを挙げて環境や人に優しいまちづくりに寄与

東京建物株式会社(本社：東京都中央区、社長：畑中 誠)は、今般、「東京建物グループ環境方針」を策定しましたのでお知らせいたします。

近年、CO<sub>2</sub>の排出削減やヒートアイランド防止など、環境対策についての関心がますます高まっています。当社グループでは都市再生事業や住宅開発事業、商業開発運営事業、余暇開発運営事業などのまちづくりにおいて、緑化推進や最先端の環境技術の導入を図り、地球環境に優しい取り組みを行っています。

このような中、より一層グループ社員全体の環境意識の共有を図り、地球環境に配慮した事業活動を通じて社会貢献していくことが当社グループの使命でもあります。当社グループでは、このグループ環境方針のもと、企業として実行すべき環境配慮への取り組みを「環境ガイドライン」として別途定め、グループ各社で共有し、今後も魅力的な都市空間づくりと地球や人にやさしい施策に積極的に取り組んでまいります。

### <グループ環境方針>

私たちは、以下のグループ環境方針のもと、環境に配慮した事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献します。

#### 【緑あふれる潤いのある街・暮らしの創造】

緑のもっている力を最大限に活かし、生物多様性にも配慮しつつ、地球にとっても人にとっても、ゆたかで快適な環境を創出します。

#### 【地域をリードする温暖化防止】

環境に配慮した技術や発想を積極的に商品・サービスに取り入れ、地域をリードする低炭素型の街づくりに取り組みます。

#### 【地球にやさしい省資源活動】

あらゆる機会を通じて省資源活動や環境負荷の低減に努め、循環型社会の形成に寄与します。

#### 【環境意識の高い社員づくり】

環境に関する法令等を遵守するとともに、環境についての教育・啓発を行い、社員の環境意識の向上を図ります。

<当社グループの環境への取組み例>

1. 都市再生事業

■大手町1-6プロジェクト（東京都千代田区）

日本経済の中核的役割を担う東京・大手町において、約3600㎡の本物の森「大手町の森」を創出します。四季折々の樹木や草花と、昆虫や鳥類などの様々な生き物が行き交う潤いある空間で、生物多様性やヒートアイランド現象の緩和にも寄与します。



大手町の森(一部)



大手町1-6プロジェクト外観イメージ

■中野駅前開発プロジェクト（東京都中野区）



中野駅前開発プロジェクト外観イメージ

JR中野駅前にありながらも、隣接する都市計画公園（約1.5ha）と合わせると約3haの広大な緑溢れるオープンスペースを整備します。既存樹木を活用し、開発前より高木の数を増やすなど、潤いと憩いのある街を形成します。

■京橋3-1プロジェクト（東京都中央区）

約3000㎡に及ぶ重層的な緑化空間となる「京橋の丘」を整備することでヒートアイランド現象緩和に取り組めます。また、周辺地域のCO2削減に取り組む「京橋環境ステーション」を設置し、本ビルにとどまらず、広域的な環境改善に取り組む予定です。



京橋の丘(一部)

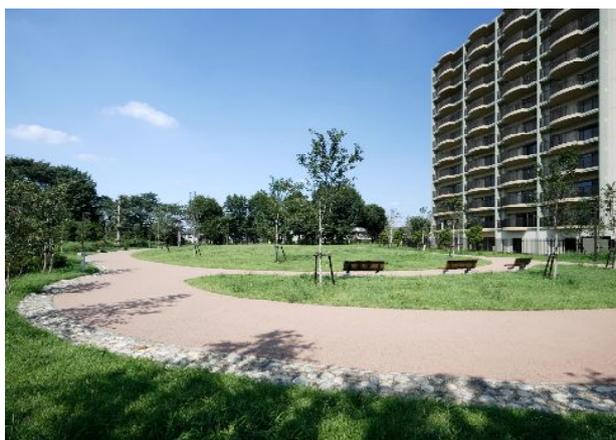


京橋3-1プロジェクト外観イメージ

## 2. 住宅開発事業

### ■ブリリアエルシオ萩山（東京都東村山市）

東京都の民設公園制度を利用した第1号のマンションで、計画敷地面積の7割に相当する約1haを民設公園として整備しています。この公園は、既存樹木を保全しつつ、芝生の広場、サクラやもみじ、果樹などの様々な草花を植樹しています。また、お子様が安心して遊べるほか、災害時の安全な避難場所としても機能を発揮します。



ブリリアエルシオ萩山と民設公園(一部)

### ■ブリリアイースクエア（川崎市幸区）

オール電化、WEBを活用した電力の見える化、太陽光発電、電気自動車対応、LED照明、複層ガラス、省エネルギー等級4（最高等級）、超節水トイレなど、環境に配慮した設備仕様により、川崎市で初となる川崎市建築物環境配慮制度（CASBEE川崎）Sランク評価を取得しています。



南棟屋上に太陽光パネルを設置しているブリリアイースクエア



自走式駐車場に設置した電気自動車用充電器

## 3. 商業開発運営事業

### ■SMARK（群馬県伊勢崎市）

北関東最大級の郊外型ショッピングセンター。そのシンボル「スマークタワー」として、日本最大のモニュメント型垂直軸風力発電機を設置しています。得られた電力は施設の照明やスマークタワー自身のLEDイルミネーションなどに利用しています。



SMARK正面入口



スマークタワー

#### 4. 余暇開発運営事業

##### ■羽鳥湖高原レジーナの森（福島県天栄村）

羽鳥湖周辺の約200万㎡の高原を開発している大規模複合リゾート施設で、レイクレジーナを中心に、天然温泉付きの別荘地、宿泊施設、湿地園、温泉施設などから構成されています。別荘地の管理は、環境維持を目的として、画期的な管理組合方式を採用しているほか、生活雑排水は、浄化処理方式による別荘開発が多い中、ここでは集中污水处理場を設置し3次処理まで行っています。さらに、風力発電や太陽光発電を活用し、LED照明などに生かしています。雄大で美しい自然環境と人との共生を最優先したミニマルなデザインを心がけ、自然や生態系に細かく気配りをした通年型リゾート施設として、平成20年度にグッドデザイン賞（土木環境・都市計画・まちづくり部門）を受賞しています。



レイクレジーナと湖畔に咲く芝桜



上: 管理組合方式で管理される別荘地  
下: 貴重な動植物の宝庫である湿地園

以上